

高齢者介護予防推進事業

①地域でガッチリ安心サポート事業（地域支援事業交付金）

1 趣 旨

要支援・要介護状態になる前からの介護予防を推進するとともに、地域における包括的・継続的なマネジメント機能を強化する観点から、介護保険者が実施する地域支援事業に対して交付金を交付する。

2 事業の概要

介護保険者が従事する下記の事業を対象とする。

①介護予防事業（必須事業）

- ・介護予防のスクリーニングの実施
- ・上記スクリーニングの結果を踏まえ、要支援・要介護状態になるおそれの高い者等を対象とする介護予防プログラムの提供

②包括的支援事業（必須事業）

- ・介護予防マネジメント事業（上記①の介護予防プログラムのマネジメント）
- ・総合相談・支援事業（地域の高齢者の実態把握、介護以外の生活支援サービスとの調整等）
- ・権利擁護事業（虐待の予防・早期発見、成年後見制度の情報提供等）
- ・地域ケア支援事業（支援困難事例に関するケアマネジャーへの助言、地域のケアマネジャーのネットワークづくり等）

※これらの事業の実施主体として、地域包括支援センターを設置

③任意事業

介護給付費適正化事業、家族支援事業など

3 平成22年度予算額

278,402千円

（担当課 高齢者福祉課）

②介護予防市町村支援事業

1 趣 旨

地域包括支援センターの運営支援を行うとともに、高齢者の生活機能の維持・向上並びに重症化予防のための積極的な介護予防・リハビリテーションが提供されるよう、各保険者・事業者の体制整備や評価への支援を行い、サービスの充実・強化を図る。

2 事業の概要

(1) 地域包括支援センター運営支援事業

地域包括支援センターの業務の手法を検討する場・研修の場づくりを県が行い、地域包括支援センターの運営基盤の確立を支援する。

(2) 介護予防事業の評価・市町村支援事業

効果的な介護予防・リハビリテーションの実施・定着が図られるよう下記の事業により保険者並びに事業者を支援する。

- ・委員会及び専門部会の開催
- ・介護予防事業支援マニュアル（平成21年度作成）の普及と事業評価
- ・リハビリ提供体制強化のための地域連携モデル事業（浜田圏域・隠岐圏域）
- ・行政担当者研修、介護予防・リハビリテーション従事者研修

3 平成22年度予算額

8,510千円

（担当課 高齢者福祉課）